

◆ いきがい交流センターしみず 令和5年度 事業報告 ◆

◇概 要◇

- 設置主体 松山市
- 運営主体 松山市社会福祉協議会
- 協力団体 清水地区社会福祉協議会、清水地区民生児童委員協議会
- 目 的 小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消および心身機能の維持向上を図るための地域交流事業や講座等を実施し、高齢者福祉の向上に資する。
また、福祉、教育関係機関等との連携を図り、松山市民、特に清水地区を中心とした城北エリアに居住、活動する人々の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び相互扶助実践を通して、福祉・学習コミュニティの形成と融合推進の地域福祉拠点とする。

◇事業内容◇

地域交流事業「友遊しみず」

本来であれば、高齢者が週2回、創作活動等を通して生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げ、また、脳トレゲームや体操、健康講座等により心身機能の維持向上を図るとともに、清水小学校児童との交流授業や昼食交流にて多世代間交流を行い、相互への思いやりを深めるものであるが、年度当初はコロナ禍で飲食ができないため短時間の開催となった。児童との交流は少しずつ実施できるようになった。

- 対 象 者 市内在住の介護保険サービスを利用していない概ね65歳以上の方
- 開催日時 月・木曜日の10:00～15:00（祝祭日・年末年始を除く）年間 89回開催
但し、4月9:30～11:30、5月・6月9:30～12:30
- 内 容 健康チェック、ストレッチ体操、レクリエーション・ゲーム、脳トレ、創作活動、俳句、絵手紙、健康講和
- 運営スタッフ 4名 活動援助員(1人)、看護師(1人)、介助員(3人)、協力会員(22人)
※介助員は協力会員の中から選出され交代制
協力会員は午前と午後で交替制
- 登録利用者数 18人（男性3人、女性15人）
- 平均年齢 83.9歳
- 延利用者数 874人（1回の平均利用者数 9.8人）



児童クラブとゲームで交流



運動会（室内）



もちつき（3年生との交流）

地域交流事業「交流授業」 清水小学校児童との交流授業

小学校との複合施設であるという特徴を生かし、児童と「友遊しみず」の利用者や地区社協関係者、地域住民、しみずサポートボランティア(大学生等)との多世代交流を毎年実施している。

各学年の年間指導計画に基づく話し合いの後、コロナ・インフルエンザ等もあり感染対策を万全にとって、随時調整を図りながら交流授業を実施した。まだ、交流給食は再開できていない。

- 交流回数 交流授業(41回)、学校行事(5回)、昼食(0回)・昼休み時間(165回)
- 延べ人数 3,728人(児童 3,499人、教職員 229人)
- 内 容
 - 1年生:感染防止のため、オープンな廊下で新入生にスマイルストラップをプレゼント
 - 2年生:児童の町探検発表やクイズ、ダンスの発表、メッセージ入り壁飾りをもらう
 - 3年生:地域の絵手紙教室の名人さんが講師となりクラスごとに絵手紙を体験
 - 4年生:児童が学んだ防災について、作製したかるたやクイズ・パズル等で交流
 - 5年生:当センターの事務職員・友遊しみずスタッフの5職種の職業体験
 - 6年生:クラスごとに児童が企画したクイズ・ダンス・演奏・劇や一緒にゲームで交流



1年生「スマイルストラップをプレゼント」



2年生「きらきら交りゆう会」



3年生「清水の名人に学ぼう」(絵手紙)



4年生「守ろう！清水の町」(防災について)



5年生「職業体験」(友遊しみず看護師)

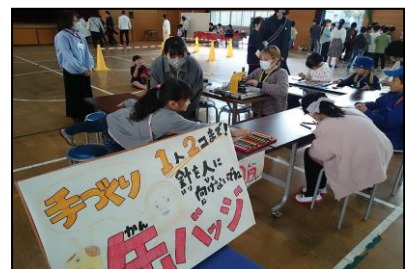


6年生「友遊しみずとの交流会」

地域交流事業「地域交流イベント」 清水小ふれあいバザーへの参加

清水小学校PTA主催イベントで、児童やその家族、地域住民と交流することで、福祉観の醸成と地域コミュニティの育成を図ることを目的に参加協力した。コロナ禍から4年ぶりの開催で、新しいコーナー等もあり、多くの参加者が訪れていた。当センターのコーナーは、しみずサポートボランティアの協力もあり盛況であった。

- 交流回数 1回
- 内 容 「オリジナル缶バッジ」の作製
- 参加人数 97名



缶バッジ作製コーナー

●シニアライフ講座【9回講座】

高齢者の生活に役立つ福祉や生活の情報などを提供することにより、高齢者やその家族が安心して暮らせる環境づくりを目的に実施した。定員をコロナ前の20名に戻すことができ、応募も抽選となるほど反響があった。男性の参加が増え、年齢層が若くなってきている。

初回オリエンテーションの自分を見つめるゲーム、第8回「人生の振り返り」のインタビューから最終回のエンディングノートの作成へとつながったことは、とてもよい流れとなった。アンケートでは、温かい雰囲気の中で受講できてよかった、また、シニアライフとして知っておくべきことや気づきがあったとの感想があった。

□講師 各種専門機関、専門家、NPO活動者など

□内容 ①オリエンテーション
②住み慣れた地域でずっと暮らしたい
③介護保険で未来をデザイン
④知って安心！成年後見制度
⑤財産管理と遺言のいろは
⑥みんなで学ぼう認知症
⑦介護者のストレスケア
⑧終活1 ～人生の振り返り～
⑨終活2 ～エンディングノートの作り方～



シニアライフ講座 第8回
(終活1 人生の振り返り)

□対象者 市内在住の60歳以上の方や講座テーマに関心があり、全日程受講可能な方

□受講者数 20人(男性7人・女性13人)

□延受講者数 162人

●終活のススメ講座【4回講座】

人生の終焉を自分らしく迎えるため、自身の経験や思いを形にして、家族など次世代の人たちに伝えていくことを目的に、定員をコロナ前の15名に戻して実施した。最近、親や兄弟を亡くし、終活に若い世代も関心をもつ傾向があり、受講平均年齢は69歳。初回で受講者同士が打ち解け、和やかな雰囲気が見られた。毎回、積極的な質問があり、今できることから取り組む様子が見られた。

□講師 一般社団法人終活サポート協会など

□内容 ①人生を振り返ろう
②ためになるエンディングノートの活用法
③もっと知りたい終活のこと
④終活のリアルにせまる



終活のススメ講座 第1回
(人生を振り返ろう)

□対象者 市内在住の60歳以上の方や講座のテーマに関心があり、全日程受講可能な方

□受講者数 15人(男性2人・女性13人)

□延受講者数 56人

しみずサポートボランティアの活動

若者のボランティアが児童に寄り添い、児童と「しみず」を利用する高齢者との橋渡しの役割を担っている。高校生・大学生による活動が主であるが、サポートボランティアのOB達も活動への協力や後進へ助言など、同じ活動をしてきたからこそその良い関係性が生まれていた。

昼休みの見守り活動では、学生が授業の空きコマに訪れ、児童と楽しく交流を行っていた。また、友遊しみずの利用者には、花壇で育てた朝顔の種と手書きカードのプレゼントをして喜ばれた。5年生が清水の町をもっとやさしい町にと取り組んでいる「やさしさボランティアリーダー」では、活動を応援する手作りのしおりと表彰状をプレゼントし、ボランティア活動の啓発に取り組んだ。

□登録者数 19人（高校生6人、大学生13人）

□活動日数 78日

□延べ活動者数 198人



友遊しみず利用者へ朝顔の種・
カードをプレゼント



やさしさボランティアリーダーへ
しおり・表彰状をプレゼント

ふれあい教室（清水地区社会福祉協議会主催）

清水地区及び近隣在住の60歳以上の方を対象に、「コーラス」「太極拳」「絵手紙」「茶道」「英会話」「書道」「フォークダンス」の7教室が、技能向上だけでなく、ふれあいや親睦を深めながら、地域住民同士の助け合いにもつながる活動を続けている。

コロナ後、4年ぶりに開催できたしみず祭の発表では練習の成果を十分に発揮できていた。また、「夏休みわくわく企画」での児童クラブの子ども達との交流活動や清水小3年生対象の「清水の名人に学ぼう」等、「絵手紙」や「太極拳」の講師・教室生が「名人さん」となって体験学習に協力し、児童との交流を楽しんでいた。

□開催回数 210回

□延べ人数 2,453人（男性 215人、女性 2,238人）



絵手紙教室の風景



第21回しみず祭
(フォークダンス教室)



書道教室の作品展示

清水地区社会福祉協議会との連携

当センターのコミュニティルームには、清水地区社会福祉協議会の事務局が設置されており、日常業務やミーティング、会議開催など、地域福祉活動の拠点となっている。

当センター職員のコーディネートにより、清水小5年生の総合的な学習の時間「やさしい町 清水」での福祉体験学習(車いす体験・白杖歩行体験・高齢者疑似体験)や6年生の卒業リボンの製作には、地区社協の執行役員や協力会員が継続して協力している。

コロナ禍で昨年、家庭科の調理実習が実施できなかった6年生のため、今回初めての試みで調理実習の見守りに協力会員に協力いただいた。

また、松山市主催で開催している「こころの健康フォーラム」では、松山市社協の呼びかけで清水地区社協が福祉講座を開催し、地域住民等に精神障がいについての啓発活動に取り組んだ。

なお、当センターのコミュニティ花壇は、地区社協関係者の募金により、たくさんの花苗や球根が植えられている。



5年生福祉体験学習「高齢者疑似体験」



福祉講座 「こころの健康フォーラム」 in 清水地区

トーンチャイムボランティアの活動

平成24年に清水地区の協力会員を中心にトーンチャイムボランティアグループ『SKB80 チームK&チームB』が結成され、清水地区社協に承認され、メンバーの交替はあったが活動は継続している。コロナ後、施設のデイサービス・児童施設等へのボランティアでの訪問活動が徐々に再開できている。毎月4～5回の練習を行い、当センターで開催している友遊しみず利用者との交流も定期的の実施できた。また、今年、愛媛県で開催された「ねんりんピック」には、清水小学校のトーンチャイムクラブ及び友遊しみずの高齢者の合同チームでオープニングに演奏を披露した。

- 参加者 4人
- 活動実績 14件／延べ人数 50人
(福祉関係施設 10件、その他 4件)
- 練習回数 53回／延べ人数 218人



ねんりんピックでの演奏発表

松山市地域包括支援センター味酒・清水との連携

当センター1階には、松山市地域包括支援センター味酒・清水があり、健康づくり・介護予防のための講座や研修会等、高齢者へ学習等の機会・情報を提供している。さらに、当センターで実施している地域交流事業「友遊しみず」へ認知症予防プログラムの提供や新規利用者を紹介いただいたり、利用者やその家族からの介護相談に同席をいただくなどしている。また、講師として介護保険制度について講座に協力をいただくなど、継続して連携を図ることにより、地域福祉の拠点として充実を図ってきた。

令和 5 年度 いきがい交流センターしみず 利用者数

事業名	延人数(人)
地域交流事業「友遊しみず」	874
清水小学校児童との交流事業等(授業 41 件・行事 5 件)	3,728
地域交流イベント(清水小ふれあいバザー参加)	97
清水小学校児童との昼食時間と昼休みの交流〈昼食交流は中止〉 (昼食交流 0 人、昼休み 998 人)	998
しみずサポートボランティアの活動(118 件)	198
シニアライフ講座 9 回 終活のススメ講座 4 回	218
ふれあい教室	2,453
トーンチャイムボランティアの活動	268
清水地区社協会議等	440
清水地区社協役員等による業務	276
清水地区社協教室部会・ちくたく業務等	368
第 21 回しみず祭	350
こころの健康フォーラム in 清水地区	35
視察(8 件)、実習(9 件)、取材(2 件)	141
合 計	10,444